

危機管理医学講座

Emergency, Disaster and Crisis Medicine

教 授	奥寺 敬	Hiroshi Okudera
准教授(併)	有嶋 拓郎	Takuro Arishima
講 師	若杉 雅浩	Masahiro Wakasugi
助 教	頭川 峰志	Mineyuki Zukawa

◆ 著 書

- 1) 若杉雅浩, 奥寺 敬. 救急・集中治療医学レビュー. 岡元和文他編. 東京: 総合医学社; 2014. 1 章, 救急システム シミュレーション医学と教育; p. 22-7.
- 2) 奥寺 敬, 高橋 恵. 脳神経外科診療プラクティス 4. 清水宏明編. 東京: 文光堂; 2014. 2 章, 神経救急をめぐる基本的理解ー神経救急蘇生ガイドライン; p. 77-80.

◆ 原 著

- 1) Okudera H, Wakasugi M, Sakamoto M, Takahashi M, Hashimoto M. Development process of Neuroresuscitation Guidelines in Japan. *Neuroepidemiology*. 2014 Nov; 43(2): 104.
- 2) Takahashi M, Okudera H: Neuroresuscitation training courses in Japan. *Neuroepidemiology*. 2014 Nov; 43(2): 111.
- 3) 奥寺 敬. 医科学としてのオリンピック医療救護. *Reg Emerg Disast Med Res*. 2013 ; 12 : 3-6. (2013 年未掲載分)
- 4) 奥寺 敬, 高橋 恵. ISLS 神経救急の卒後教育の実践. *臨床神経学*. 2013 ; 53(11) : 1366-8. (2013 年未掲載分)
- 5) 奥寺 敬, 坂元美重. 国際医療ツーリズムを応用したリビアータイ医療支援事業プロジェクト. *富山大学医学会誌*. 2013 ; 24(1) : 27-30. (2013 年未掲載分)
- 6) 野上悦子, 安宅早苗, 奥寺 敬, 安村 修, 塚田一博. 富山大学附属病院医療安全システム報告 2013 インシデント集計より. *富山大学医学会誌*. 2013 ; 24(1) : 35-45. (2013 年未掲載分)
- 7) 高橋千晶, 奥寺 敬. 神経救急疾患患者の意識レベル評価に有用な Emergency Coma Scale. *日本臨床*. 2014 ; 72(suppl 5) : 334-7.
- 8) 頭川峰志, 長田龍介. 橈骨遠位端骨折に対する掌側プレート固定後の長母指伸筋腱断裂の検討. スクリュー以外の要因によるものについて. *日手会誌*. 2014 ; 30(5) : 712-14.

◆ 症例報告

- 1) 頭川峰志, 長田龍介, 木村友厚. 指尖部切断再接着後に同部位での再切断を受傷した 1 例. *中部整形災誌*. 2014 ; 57(1) : 179-80.
- 2) 頭川峰志, 長田龍介, 木村友厚. 骨端線損傷後の近位指節間関節形成障害に対して血管柄付き有頭骨骨軟骨移植を施行した 1 例. *整形外科*. 2014 ; 65 : 639-42.
- 3) 頭川峰志, 長田龍介, 杉森一仁. 高度変形を伴った上腕骨遠位端偽関節に対し骨短縮併用人工肘関節置換術を行った 1 例. *日肘会誌*. 2013 ; 20(2) : 275-77. (2013 年未掲載分)

◆ 学会報告

- 1) Wakasugi M, Okudera H, Sakamoto M. Current activities of EMERGO Train System in Japan. *International Emergo Train System Workshop* ; 2014 Mar 26 ; London.
- 2) Okudera H, AjimiY, Berg BW. Round table discussion on scenario making for effective simulation fro Japan. *International Medical Simulation Conference*; 2014 Aug 25-26; Hawaii.
- 3) Okudera H, Wakasugi M, Sakamoto M, Takahashi M, Hashimoto M. Development process of Neuroresuscitation Guidelines in Japan. *4th International Conference on Neurology and Epidemiology*; 2014 Nov 6-8; Malaysia.
- 4) Takahashi M, Okudera H, Ikeda H, Iwase M, Sakamoto M, Hashimoto M, Ajimi Y, Ito K. Neuroresuscitation training courses in Japan. *4th International Conference on Neurology and Epidemiology*; 2014 Nov 6-8; Malaysia.
- 5) 奥寺 敬, 有賀 徹, 坂本哲也, 鈴木明文. 神経蘇生研修としての PNLS の立ち位置. 第 19 回日本脳神経外科救急

学会総会・学術集会；2014 Jan 11；富山。

- 6) 伊藤勝博, 浅利 靖, 大熊洋揮, 奥寺 敬, 島 克司. 東北地方における PNLS コース開催状況. 第 19 回日本脳神経外科救急学会総会・学術集会；2014 Jan 11；富山。
- 7) 岩瀬正顕, 奥寺 敬. PNLS コースの開催状況. 第 19 回日本脳神経外科救急学会総会・学術集会；2014 Jan 11；富山。
- 8) 高橋絹代*, 長谷川友紀, 篠崎尚史, 若杉雅浩, 奥寺 敬. 救急・集中治療領域での臓器提供の選択肢提示の意義と適応判断セミナー実施結果. 第 19 回日本脳神経外科救急学会総会・学術集会；2014 Jan 11；富山。
- 9) 金山麻希*, 奥寺 敬, 若杉雅浩. JTAS における意識障害の緊急度判定について. 第 19 回日本脳神経外科救急学会総会・学術集会；2014 Jan 11；富山。
- 10) 若杉雅浩, 奥寺 敬. ISLS2013 と PNLS の改訂. 第 19 回日本脳神経外科救急学会総会・学術集会；2014 Jan 11；富山。
- 11) 安心院康彦, 高橋 恵, 奥寺 敬, 石川 久, 坂本哲也. PNLS 脳ヘルニアブースのこれまでの内容と神経蘇生に基づいた今後の課題. 第 19 回日本脳神経外科救急学会総会・学術集会；2014 Jan 11；富山。
- 12) 安心院康彦, 谷崎義生, 中村丈洋, 奥寺 敬, 坂本哲也. 国際 PNLS の症例検討ブースにおけるグループワークの特徴. 第 19 回日本脳神経外科救急学会総会・学術集会；2014 Jan 11；富山。
- 13) 岩瀬正顕, 島 克司, 奥寺 敬. PNLS 開催に関するコースコーディネーターの役割. 第 19 回日本脳神経外科救急学会総会・学術集会；2014 Jan 11；富山。
- 14) 橋本真由美, 奥寺 敬. 第 11 回世界脳神経外科看護学会における国際版 PNLS. 第 19 回日本脳神経外科救急学会総会・学術集会；2014 Jan 11；富山。
- 15) 中田康城, 菊地 眞, 奥寺 敬, 斎藤大蔵, 三宅康史, 森野一真, 千田 良, 山口一良, 松崎辰夫. タブレット型 PC を用いた多数参加者にも対応可能なトリアージ教育システム 福島プロジェクト (第 3 報). 第 19 回日本集団災害医学会総会・学術集会；2014 Feb 25-26；東京。
- 16) 安心院康彦, 有賀 徹, 奥寺 敬, 奥地一夫, 北原孝雄, 黒田泰弘, 嶋津岳士, 豊田 泉, 永山正雄, 本多 満. 神経蘇生初期診療 ACEC のトレーニングシナリオ作成とその特徴. 第 17 回日本臨床救急医学会総会・学術集会；2014 May 31- Jun 1；栃木。
- 17) 長田龍介, 頭川峰志. 透析患者における手根管症候群のエコー所見. 第 57 回日本手外科学会学術集会；2014 Apr 17-18；宜野湾。
- 18) 頭川峰志, 長田龍介. 手関節部化膿性伸筋腱鞘炎の治療経験. 第 57 回日本手外科学会学術集会；2014 Apr 17-18；宜野湾。
- 19) 長田龍介, 頭川峰志, 木村友厚. 手根管症候群の手術前後における正中神経のエコー所見. 第 87 回日本整形外科学会学術総会；2014 May 22-25；神戸。
- 20) 頭川峰志, 長田龍介, 木村友厚, 大西慎太郎, 本江充昭, 古泉智文, 藤田雄介, 今田光一, 吉悠栖輔. 橈骨遠位端骨折に対する掌側プレート固定後の長母指伸筋腱断裂の検討—スクリー以外の要因によるものとその対策—. 第 87 回日本整形外科学会学術総会；2014 May 22-25；神戸。
- 21) 松井恒太郎, 若杉雅浩, 有嶋拓郎, 奥寺 敬. 不安定型頸椎損傷と上半身熱傷が合併した症例の治療戦略に示唆を与える 1 症例. 第 28 回日本外傷学会総会・学術集会；2014 Jun 25-26；東京。
- 22) 有嶋拓郎, 若杉雅浩, 松井恒太郎, 奥寺 敬. 気管支鏡を使った経皮的気管切開術で輪状軟骨を損傷した 1 症例 合併症回避の考察. 第 28 回日本外傷学会総会・学術集会；2014 Jun 25-26；東京。
- 23) 奥寺 敬. シンポジウム 1 / 非けいれん性てんかん重責状態 (NCSE) の臨床—新たな展開へのマイルストーン—. 第 28 回日本神経救急学会総会・学術集会；2014 Jul 11-12；熱海。(特別発言)
- 24) 奥寺 敬. 神経ガス中毒の臨床像の共有—両サリン事件の特殊性にとらわれないために—. 第 28 回日本神経救急学会総会・学術集会；2014 Jul 11-12；熱海。
- 25) 安心院康彦, 奥寺 敬, 奥地一夫, 北原孝雄, 黒田康弘, 嶋津岳士, 豊田 泉, 永山正雄, 東原真奈, 本多 満. 神経蘇生初期診療 ACEC の線形アルゴリズムとマップによる診療手順の紹介. 第 28 回日本神経救急学会総会・学術集会；2014 Jul 11-12；熱海。
- 26) 佐々木正弘, 奥寺 敬, 鈴木明文. ISLS-WS での e-learning 開始について—北東北での試み—. 第 28 回日本神経救急学会総会・学術集会；2014 Jul 11-12；熱海。
- 27) 奥寺 敬. 脳神経外科専門医が指導する救急蘇生研修 PNLS. 第 17 回日本臨床脳神経外科学会；2014 Jul 17；東京。
- 28) 奥寺 敬, 高橋 恵, 安心院康彦, 池田尚人. 救急蘇生研修 PNLS. 第 17 回日本臨床脳神経外科学会；2014 Jul 17；

東京.

- 29) 高橋絹代*, 奥寺 敬. 移植 CO の現状とこれから. 第 13 回日本組織移植学会; 2014 Aug 29; 岐阜.
- 30) 奥寺 敬, 橋本真由美. 救急医療から見た AED の地理的空間. 日本地理学会 2014 年度秋季学術大会シンポジウム; 2014 Sep 21; 富山.
- 31) 頭川峰志, 長田龍介, 木村友厚. STT 関節症による長母指屈筋腱皮下断裂の 1 例. 第 123 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会; 2014 Oct 3-4; 名古屋.
- 32) 高橋 恵, 奥寺 敬. Primary Neurosurgical Life Support (PNLS) コースの国際展開. 第 73 回日本脳神経外科学会総会・学術集会; 2014 Oct 9-11; 東京.
- 33) 岩瀬正顕, 奥寺 敬, 栗栖 薫, 松前光紀, 平山晃康, 浅井昭雄, 加藤庸子, 池田尚人. 日本国内での PNLS コース開催状況. 第 73 回日本脳神経外科学会総会・学術集会; 2014 Oct 9-11; 東京.
- 34) 山田実貴人, 奥寺 敬, 豊田 泉, 中村丈弘, 高橋 恵, 池田尚人, 岩瀬正顕, 平山晃康, 島 克治. 第 11 回世界脳神経看護学会における PNLS コースの経験. 第 73 回日本脳神経外科学会総会・学術集会; 2014 Oct 9-11; 東京.
- 35) 池田尚人, 奥寺 敬, 岩瀬正顕. 脳神経外科医に対する Primary Neurosurgical Life Support (PNLS) の目的—最近の開催実績からの考察. 第 73 回日本脳神経外科学会総会・学術集会; 2014 Oct 9-11; 東京.
- 36) 奥寺 敬, 豊田 泉, 中村丈弘, 高橋 恵, 池田尚人, 岩瀬正顕, 平山晃康. 脳神経外科救急基礎研修 (PNLS) コース (ワークショップ). 第 73 回日本脳神経外科学会総会・学術集会; 2014 Oct 9-11; 東京.
- 37) 奥寺 敬. チーム医療としての救急医療の現状と課題. 第 4 回東北放射線医療技術学術大会; 2014 Oct 25; 新潟. (特別講演)
- 38) 中村俊介, 三宅康史, 奥寺 敬, 北原孝雄, 島崎修次, 白石振一郎, 坪倉正治, 鶴田良介, 横田裕行, 有賀 徹. 熱中症による中枢神経系後遺症に関する検討. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会; 2014 Oct 28-30; 福岡.
- 39) 安心院康彦, 奥寺 敬, 奥地一夫, 北原孝雄, 黒田泰弘, 嶋津岳士, 豊田 泉, 永山正雄, 本多 満, 坂本哲也. 意識障害初期診療の標準化 ACEC の紹介. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会; 2014 Oct 28-30; 福岡.
- 40) 奥寺 敬. Medical Science としての Patient Safety. 第 25 回国立大学附属病院医療安全管理協議会・総会; 2014 Nov 6; 福岡. (指定発言)
- 41) 長田龍介, 頭川峰志. 長期透析による閉塞性動脈硬化症を生じた動脈をレシピエントとして皮弁手術を行った 1 例. 第 41 回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 2014 Dec 4-5; 京都.

◆ その他

- 1) 奥寺 敬. 緊急度判定 JTAS と院内トリアージについて. 病院経営セミナー2014 in 関西; 2014 Jan 24; 大阪.
- 2) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 坂元美重. 災害拠点病院とエマルゴ研修. 石川県災害医療研修会; 2014 Feb 8; 金沢.
- 3) 奥寺 敬, 坂元美重, 若杉雅浩. 災害研修のあり方. 石川県エマルゴプロバイダーコース; 2014 Feb 8; 金沢.
- 4) 奥寺 敬, 太田晴美. 災害医療基礎研修エマルゴの基本. 平成 26 年度北海道災害医療研修会; 2014 Apr 16; 札幌.
- 5) 奥寺 敬. 多数傷病者事案にどう対応するか—長野オリンピックでの経験と課題. 危機管理セミナー2014; 2014 Apr 18; 東京.
- 6) 奥寺 敬. 緊急度判定支援システム JTAS と救急診療. 千葉県第 1 回緊急度判定支援システム研修会; 2014 Apr 26; 千葉.
- 7) 奥寺 敬. 地域救急医療と緊急度判定支援システム. 佐賀県第 1 回緊急度判定支援システム研修会; 2014 May 3; 唐津.
- 8) 奥寺 敬. 神経蘇生研修 ISLS の新たな展開. 群馬 ISLS-WS; 2014 Mar 15; 前橋.
- 9) 奥寺 敬. 心肺蘇生ガイドライン 2010 と神経蘇生. 函館神経蘇生 (ISLS) 研修会; 2014 May 28; 函館.
- 10) 奥寺 敬. 神経蘇生研修と指導者のあり方. 函館神経蘇生 (ISLS) 指導者養成研修会; 2014 May 29; 函館.
- 11) 奥寺 敬. 地域救急医療と緊急度判定支援システム. 岩手県第 2 回緊急度判定支援システム研修会; 2014 Jul 6; 盛岡.
- 12) 奥寺 敬. 緊急度判定支援システム JTAS と救急看護. 平成 26 年度日本看護協会認定看護師研修; 2014 Jul 8; 清瀬.
- 13) 奥寺 敬. 地域救急医療と緊急度判定支援システム. 島根県第 4 回緊急度判定支援システム研修会; 2014 Aug 9; 出雲.
- 14) 奥寺 敬. 心肺蘇生ガイドライン 2010 と神経蘇生. 島根大学神経蘇生研修会; 2014 Aug 10; 出雲.
- 15) 奥寺 敬. 地域救急医療と緊急度判定支援システムの応用. 兵庫県第 1 回緊急度判定支援システム研修会; 2014 Aug 17; 豊岡.

- 16) 奥寺 敬. 災害トリアージと院内トリアージ その共通点と差異を理解する. 第 3 回院内トリアージワークショップ; 2014 Aug 24; 東京.
- 17) 奥寺 敬. 院内トリアージと JTAS. 第 3 回院内トリアージ研修 (ワークショップ); 2014 Aug 24; 東京.
- 18) 奥寺 敬. オリンピック医療の真実 長野 1998 より. 平成 26 年内閣官房 NBC ネットワーク専門家会合; 2014 Aug 25; 東京.
- 19) 奥寺 敬. 心肺蘇生ガイドラインと神経蘇生. 旭川神経蘇生講演会; 2014 Sep 5. 旭川.
- 20) 奥寺 敬. 緊急度判定支援システムと地域医療における展開. 秋田県第 1 回緊急度判定支援システム研修会; 2014 Sep 7; 横手.
- 21) 奥寺 敬. 神経蘇生と離島医療. 隠岐神経蘇生研修会; 2014 Oct 12; 隠岐.
- 22) 奥寺 敬. 緊急度判定支援システムとフィジカルアセスメント. 大阪府第 3 回緊急度判定支援システム研修会; 2014 Oct 13; 堺.
- 23) 奥寺 敬. 災害医療の基本と応用. 平成 26 年度秋田県災害医療セミナー; 2014 Oct 15; 秋田.
- 24) 奥寺 敬. 緊急度判定支援システムとフィジカルアセスメント. 愛知県第 2 回緊急度判定支援システム研修会; 2014 Oct 18; 長久手.
- 25) 奥寺 敬. 地域医療連携と緊急度判定支援システム. 新潟県第 2 回緊急度判定支援システム研修会; 2014 Oct 19; 上越.
- 26) 奥寺 敬. 緊急度判定支援システムとフィジカルアセスメント. 沖縄県第 3 回緊急度判定支援システム研修会; 2014 Oct 26; 那覇.
- 27) 奥寺 敬. 緊急度判定支援システムと医療連携. 福岡県第 4 回緊急度判定支援システム研修会; 2014 Oct 28; 福岡.
- 28) 奥寺 敬. 緊急度判定支援システムとフィジカルアセスメント. 長野県第 2 回緊急度判定支援システム研修会; 2014 Oct 30; 松本.
- 29) 頭川峰志. 10 年目のカルテ DOCTOR-ASE. 日本医師会発行. 2014 : Oct.
- 30) 奥寺 敬. シミュレーション研修の最新の動向. 平成 26 年度群馬県神経蘇生研修会; 2014 Nov 22; 前橋.
- 31) 奥寺 敬. 東日本大震災以降の医療機器開発の動向. 日本医療機器販売業協会 平成 26 年度スキルアップセミナー; 2014 Nov 24; 金沢.
- 32) 奥寺 敬. 地域医療連携と緊急度判定支援システム. 鳥取県第 2 回緊急度判定支援システム研修会; 2014 Dec 20; 米子.